

2021 1月 スクールホットライン

負けるな！豊中生 パート2

From 豊山中学校

コロナウイルス感染症対策のため、生徒たちは今までとは違った学校生活を送っています。しかし、豊中生は負けていません。この二期は様々な行事を、工夫して行ってきました。

九月には、三年生が伊豆方面への修学旅行に出かけました。体育大会は学年別球技大会に、そして、文化祭は作品展に変更して行いました。例年とは違う形になりましたが、生徒たちは一つ一つの行事に全力で取り組みました。

また、二年生は、町の補助により名古屋フィルハーモニーの団員による金管五重奏の演奏を鑑賞することができました。

一年生は、福祉実践教室を行い、車椅子バスケットボール体験を通して障がいのある方への理解を深め、共生していく大切さを学びました。



このように、今できること、今やるべきことに豊中生は全力で取り組んでいます。



感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下します。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすいです。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まります。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高めます。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まります。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まります。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まります。
- マスクなしでの感染例としては、昼食ラオケなどでの事例が確認されています。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まります。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されています。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる場合があります。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されています。

